第５号様式(第３条関係)

液化石油ガス設備工事明細書(個別事項)

　(バルク容器：貯蔵能力500kg超～3,000kg未満その1)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 確認事項 | 確認 | 備考(添付書類) |
| 良 | 否 |
| カップリング用液流出防止装置付き液取入バルブ | 液取入バルブ：□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品カップリング：□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| ガス放出防止器等付きガス取出バルブ | ガス取出バルブ：□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品ガス放出防止器：□調整器一体型　　□大臣認定品　　　　　　　　□高圧ガス設備試験合格品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| ガス放出防止器、緊急遮断装置付き液取出バルブ | 液取出バルブ：□使用　□不使用(□プラグ止)　　　　　　　□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品ガス放出防止器等：　　　　　　　□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| カップリング付き均圧バルブ | 均圧バルブ：□使用　□不使用　　　　　　□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品カップリング：□高圧ガス設備試験合格品　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| 液面計 | □高圧ガス設備試験合格品　　　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| 過充塡防止装置 | □高圧ガス設備試験合格品　　　□大臣認定品 | 良 | 否 | (試験成績書) |
| プロテクター | □附属機器はプロテクター内に設置(液面計、過充塡防止装置は漏えいのおそれのない場合は除く。) | 良 | 否 | 　 |
| 表示等 | □液化石油ガス又はLPガス及び火気厳禁(朱書)□緊急時連絡先(認定保安機関と同じ場合は不要) | 良 | 否 | 　 |
| スカート、サドル等 | □スカート　　□サドル　　□その他 | 良 | 否 | 　 |
| 基礎の設置 | □地盤面からの高さ(　　　　)cm | 良 | 否 | 　 |
| 車両からの保護 | □ネットフェンス　□ガードパイプ　□縁石　□その他(　　) | 良 | 否 | (写真又は図面) |
| 安全弁の放出管開口部の位置 | □開口部の位置：バルク容器の頂部から(　　　　)cm□雨水の浸入防止措置：(　　　　　　　　　　　) | 良 | 否 | 　 |
| 設置場所火気を遮る措置(1t未満) | □火気からの距離(　　　　)m□距離不足の場合の措置方法(　　　　　　　　　　) | 良 | 否 | 　 |
| 温度上昇防止措置(1t未満) | □日光の照射によっても常に温度を40℃以下に保つ措置□日光以外の熱源により容器の温度が40℃を超えるおそれのあるときは、不燃性の隔壁の設置 | 良 | 否 | 　 |
| バルク容器の漏えい防止 | □バルク容器の漏えいのない構造 | 良 | 否 | 　 |

　(バルク容器：貯蔵能力500kg超～3,000kg未満その2)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 確認事項 | 確認 | 備考(添付書類) |
| 良 | 否 |
| ガス漏れ検知器及び常時監視システムの設置 | □ガス漏れ検知器の設置：　　□有　　　　　□無→　　　□周囲に構築物等なし　　　　　　　　　(地上のみ)　□3月に1回以上漏えい　　　　　　　　　　　　　　　　確認実施□常時監視システムの連絡先：(　　　　　　　　) | 良 | 否 | 　 |
| 高圧配管内の再液化防止措置 | □プロテクター内　　　　□バルク容器の直近 | 良 | 否 | 　 |
| 　以下バルク容器1t以上3t未満に係る項目 |
| 保安距離障壁(1t以上3t未満) | □第1種保安物件：　　実際距離(　　　)m　保安物件の名称(　　　　　　)□第2種保安物件：　　実際距離(　　　)m　保安物件の名称(　　　　　　)　障壁構造　□必要　　□不必要 | 良 | 否 | (構造図) |
| 火気取扱施設までの距離(1t以上3t未満) | □火気取扱施設までの距離(　　)m□距離不足の場合の措置(　　　　　　　　　　　　　　) | 良 | 否 | (構造図) |
| 屋根・遮蔽板 | □屋根：□繊維強化セメント板　　□薄鉄板等　　　　□その他(　　　　　　　　　　)□遮蔽板：□間隔　□遮蔽効果　□軽量 | 良 | 否 | (写真又は図面) |
| 消火設備 | □粉末消火器(A―4・B―10以上×　　　　本) | 良 | 否 | 　 |

(備考)　1　該当する項目の□にレ印を記入すること。

　　　　2　確認の欄は基準の適合状況を確認して良・否を判定し該当箇所を○で囲むこと。

　　　　3　備考欄に記入されている添付書類を別途添付すること。

　　　　4　試験成績書の添付については備考欄に成績書番号を記載することで、これに代えることができる。

　　　　5　付近の状況図及び敷地内配置図等を添付すること。

　　　　6　配管図(バルク容器から使用末端ガス栓までの設置状況を示したもので、埋設管と地上管の区別をしたもの)を添付すること。

　　　　7　気密試験(高圧部に係るものを除く。)は、自記圧力計を使用して行い、そのチャート紙の写しを添付すること。ただし、高圧部については、メーカーの試験成績書を添付することで、これに代えることができる。